

危険物取扱者 [乙種・性消(第4類危険物)・正誤(1)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第4類の危険物は流動性が高いため、火災になると拡大する危険がある。 【 】
- (2) 第4類の危険物は、引火点の高い物質ほど、引火の危険性が大きい。 【 】
- (3) 第4類の危険物の液体の比重は、1より大きいものが多い。 【 】
- (4) 第4類の危険物で非水溶性のものは、静電気が蓄積しやすい。 【 】
- (5) 第4類の危険物の消火に、棒状に放射する強化液消火剤は効果的である。 【 】
- (6) 第4類の危険物を容器に貯蔵するときは、容器に通気孔を設ける。 【 】
- (7) 特殊引火物には、40℃以下の温度で沸騰するものがある。 【 】
- (8) アセトアルデヒドは非常に揮発しやすい。 【 】
- (9) ジエチルエーテルは特有の臭気がある。 【 】
- (10) 自動車用ガソリンはオレンジ系の色に着色されている。 【 】
- (11) ベンゼンは水によく溶ける。 【 】
- (12) メタノールの燃焼範囲はおおむね7から37vol%である。 【 】
- (13) キシレンには3つの異性体が存在する。 【 】
- (14) 酢酸は無色無臭の液体である。 【 】
- (15) クレオソート油は金属に対する腐食性を持たない。 【 】

危険物取扱者 [乙種・性消(第4類危険物)・正誤(1)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第4類の危険物は流動性が高いため、火災になると拡大する危険がある。 【○】
流動性が高いため、火災になると拡大する危険がある。
- (2) 第4類の危険物は、引火点の高い物質ほど、引火の危険性が大きい。 【×】
引火点の低い物質ほど、引火の危険性が大きい。
- (3) 第4類の危険物の液体の比重は、1より大きいものが多い。 【×】
液体の比重は1より小さいものが多い。
- (4) 第4類の危険物で非水溶性のものは、静電気が蓄積しやすい。 【○】
非水溶性のものは静電気が蓄積しやすい。
- (5) 第4類の危険物の消火に、棒状に放射する強化液消火剤は効果的である。 【×】
霧状に放射する強化液消火剤は効果的である。
- (6) 第4類の危険物を容器に貯蔵するときは、容器に通気孔を設ける。 【×】
容器は密栓する。
- (7) 特殊引火物には、40℃以下の温度で沸騰するものがある。 【○】
40℃以下の温度で沸騰するものがある。
- (8) アセトアルデヒドは非常に揮発しやすい。 【○】
揮発性が高い。
- (9) ジエチルエーテルは特有の臭気がある。 【○】
甘い刺激臭を有する。
- (10) 自動車用ガソリンはオレンジ系の色に着色されている。 【○】
オレンジ色に着色されている。
- (11) ベンゼンは水によく溶ける。 【×】
水に溶けない。
- (12) メタノールの燃焼範囲はおおむね7から37vol%である。 【○】
燃焼範囲は6.7から37vol%なので、正しい。
- (13) キシレンには3つの異性体が存在する。 【○】
3つの異性体が存在する。
- (14) 酢酸は無色無臭の液体である。 【×】
無色で刺激臭のある液体である。
- (15) クレオソート油は金属に対する腐食性を持たない。 【○】
金属に対する腐食性はない。